

## 2D操作

### スキャンした図面を使って敷地を作成したい

紙面しかない場合

紙で印刷した図面等しかない場合、あらかじめスキャナなどを使用し、敷地図を画像データとしてパソコンに保存しておきます。

1. 平面図へ画像を取込みます。

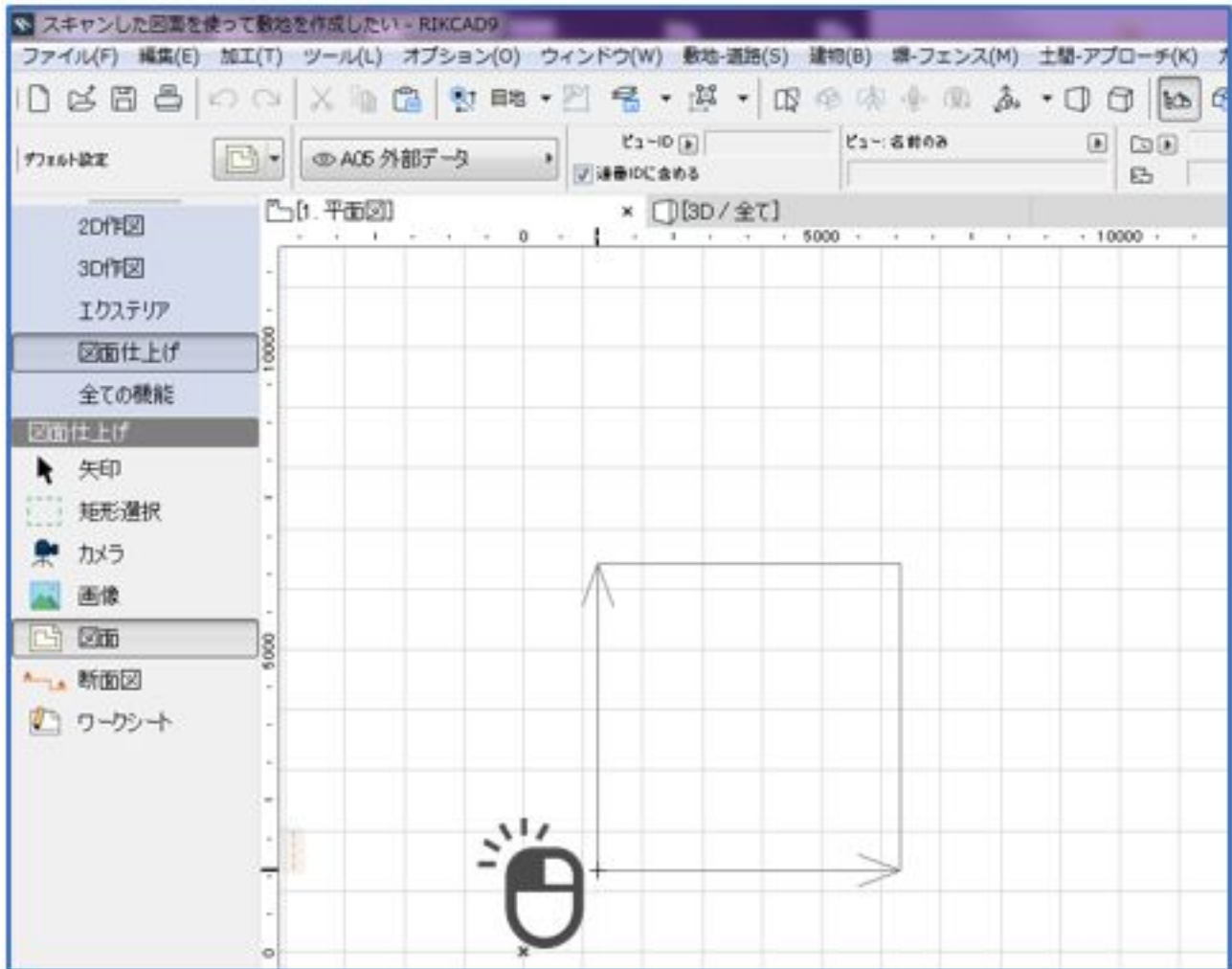
ツールボックスより「図面仕上げ」の[ 図面 ]を選択します。



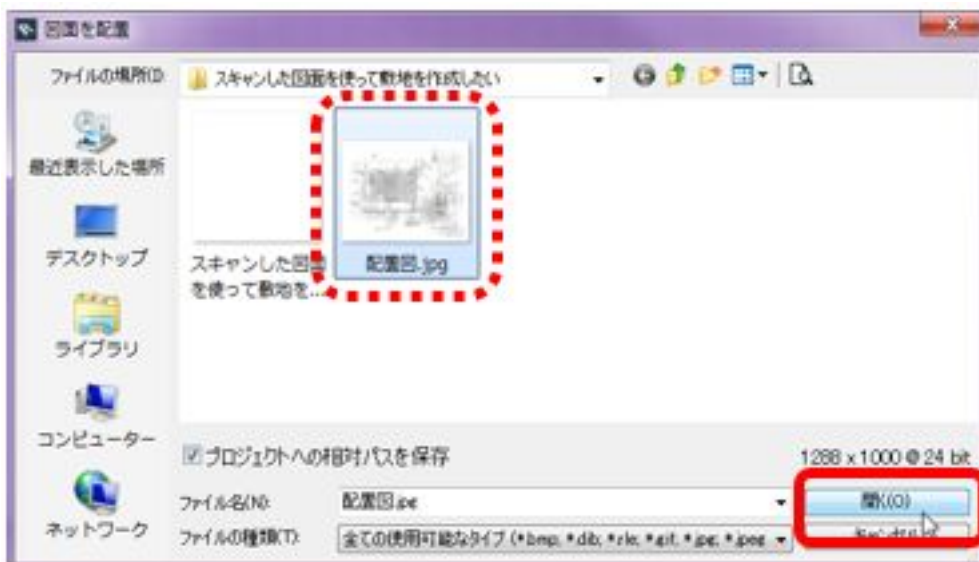
平面図上でクリックします。

? マウスカースルに矢印のついた正方形が表示されます。

## 2D操作

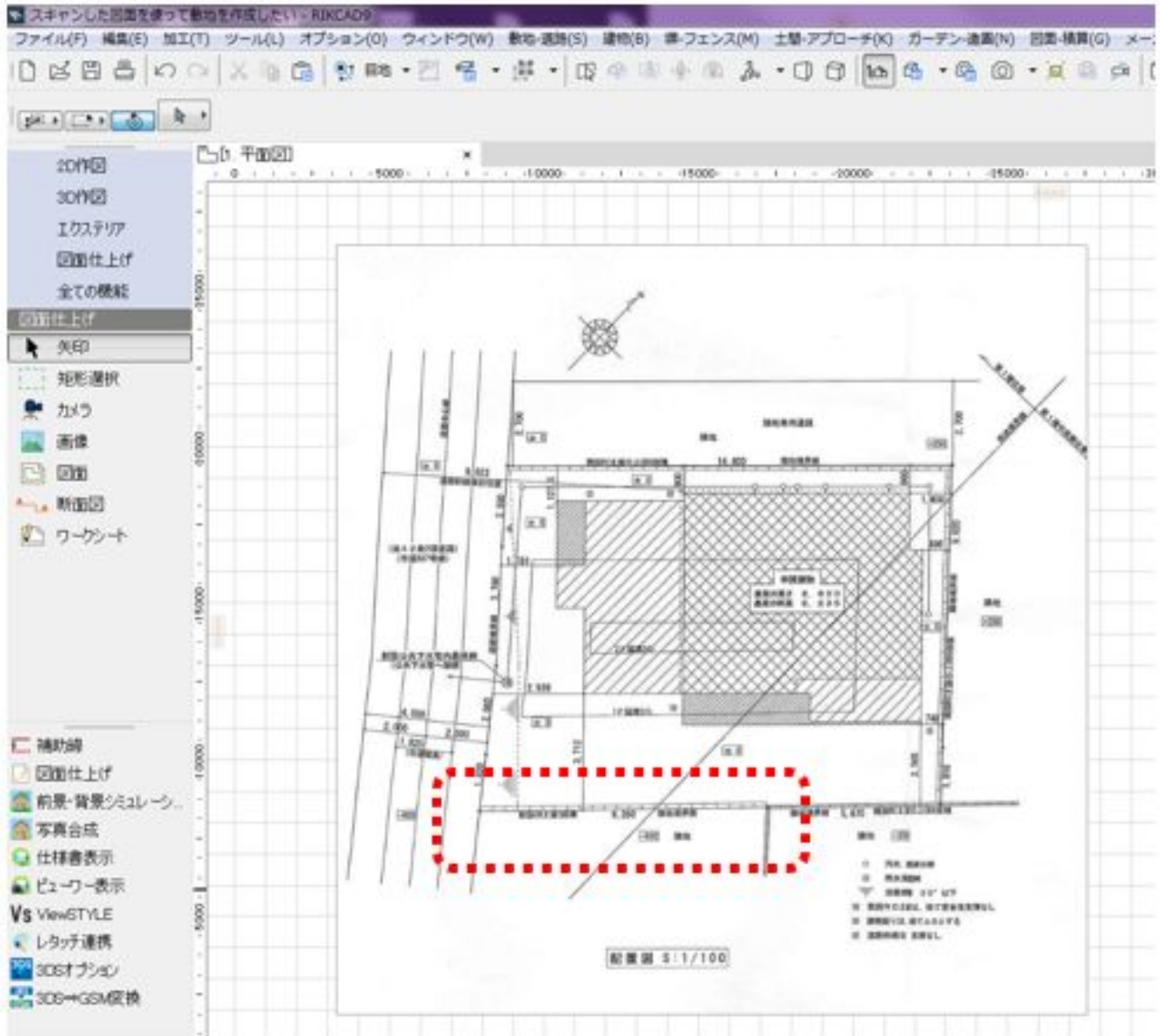


敷地の画像を選択して開くをクリック。



平面図に敷地図が配置されました。

# 2D操作

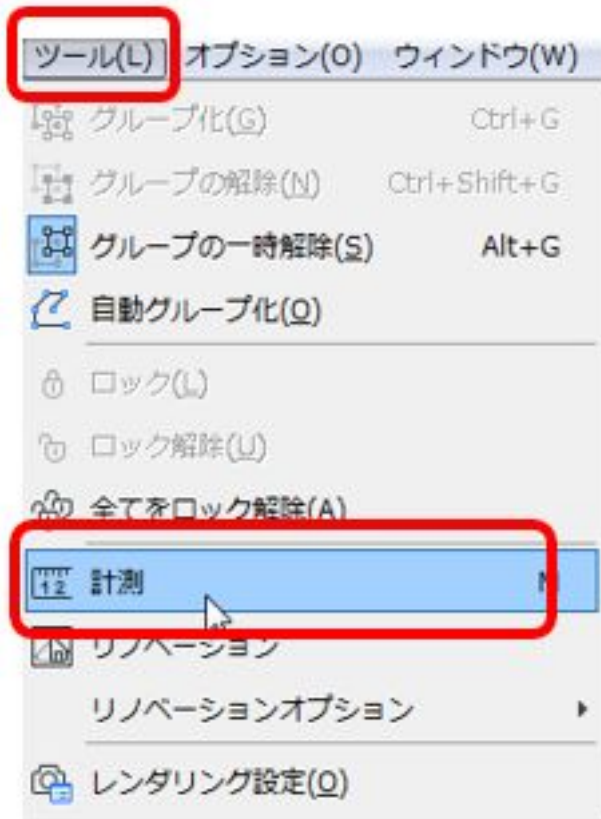


## 【2.配置した敷地画像のスケールを確認します】

寸法の表記がある箇所を計測ツールで計測します。

メニューバーの「ツール」から [ 計測 ] を選択。マウскарソルの横に座標ボックスが表示されます。

## 2D操作



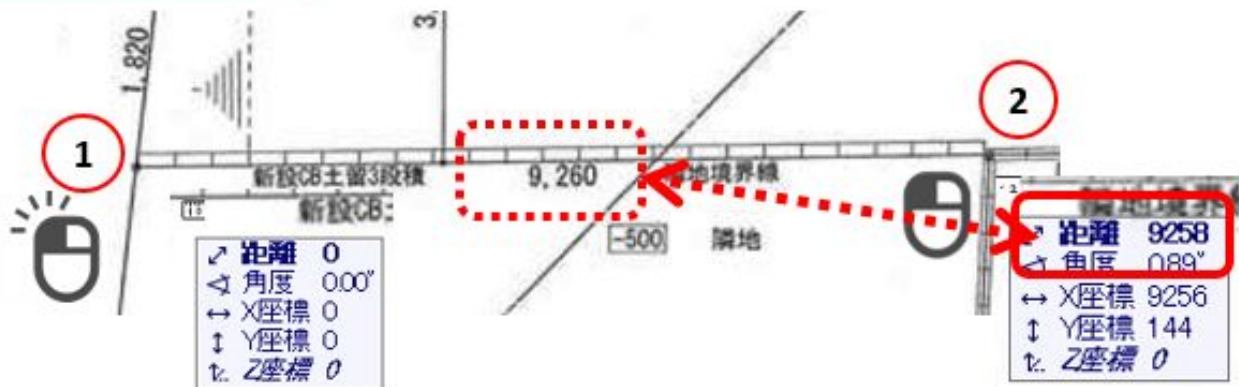
計測する始点をクリックします。

計測する終点にマウスを乗せます。

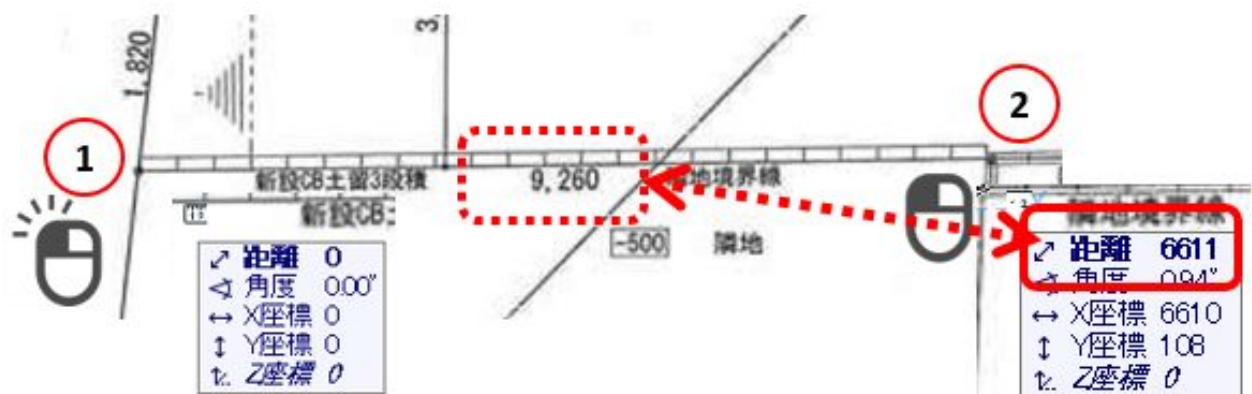
座標ボックスの【距離】と図面の寸法を確認します。

## 2D操作

サイズ変更不要



サイズ変更必要



画像の敷地寸法と、座標ボックスの距離が近似値の場合スケールは「1：100」となります。

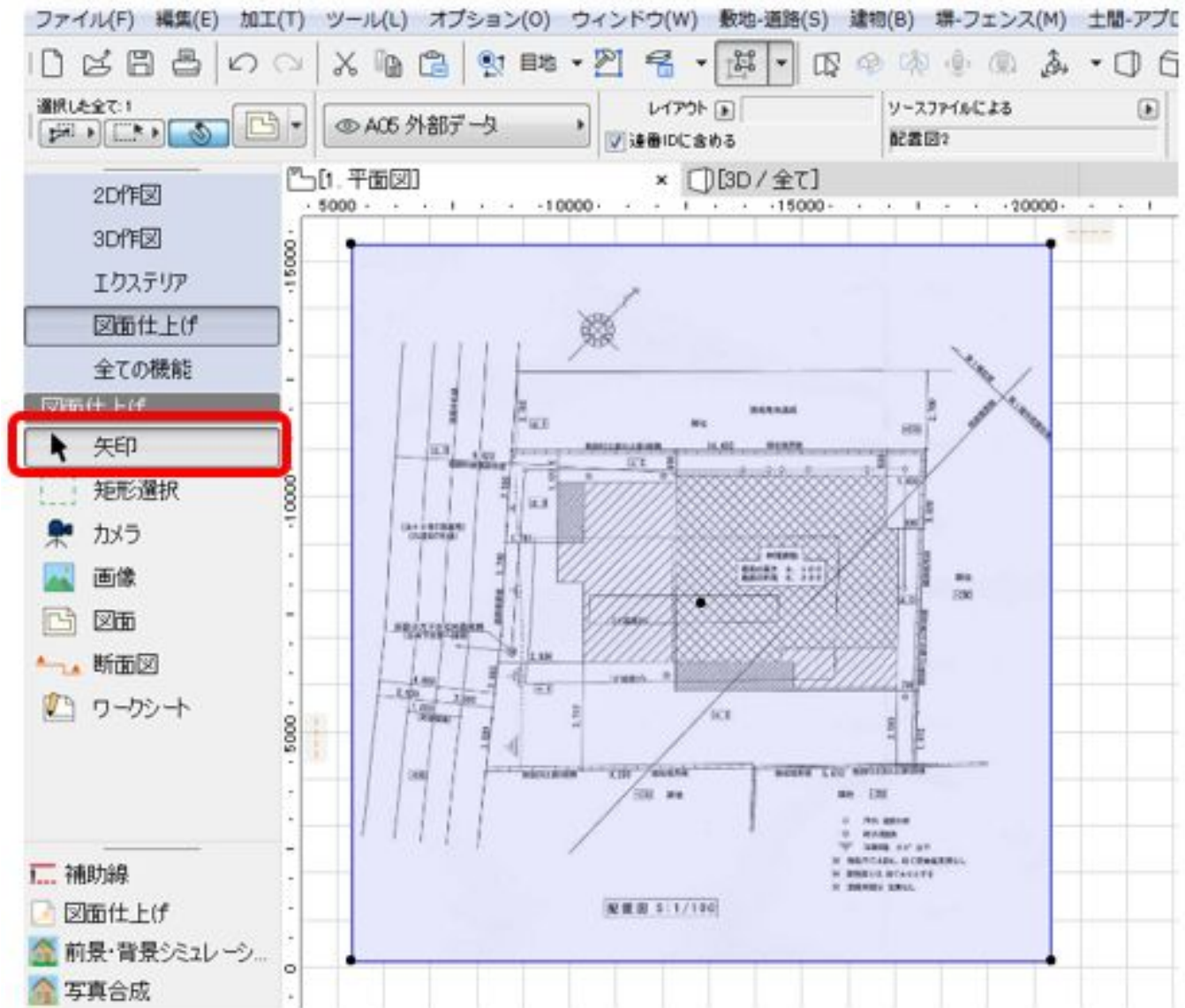
値が違う場合は「3」に進みサイズの変更をします。

3.配置した図面のスケールが違う場合はサイズを変更します。

配置した図面を矢印ツールで選択します。



## 2D操作

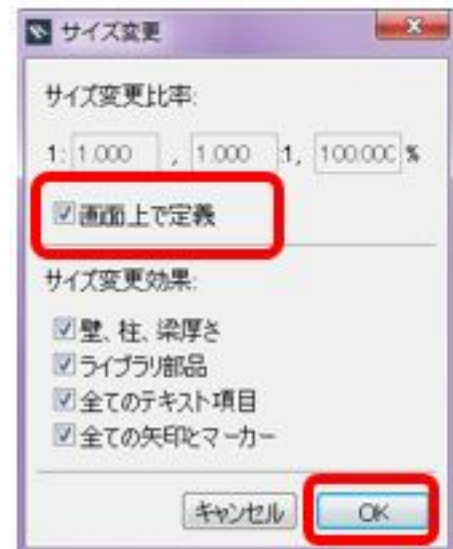
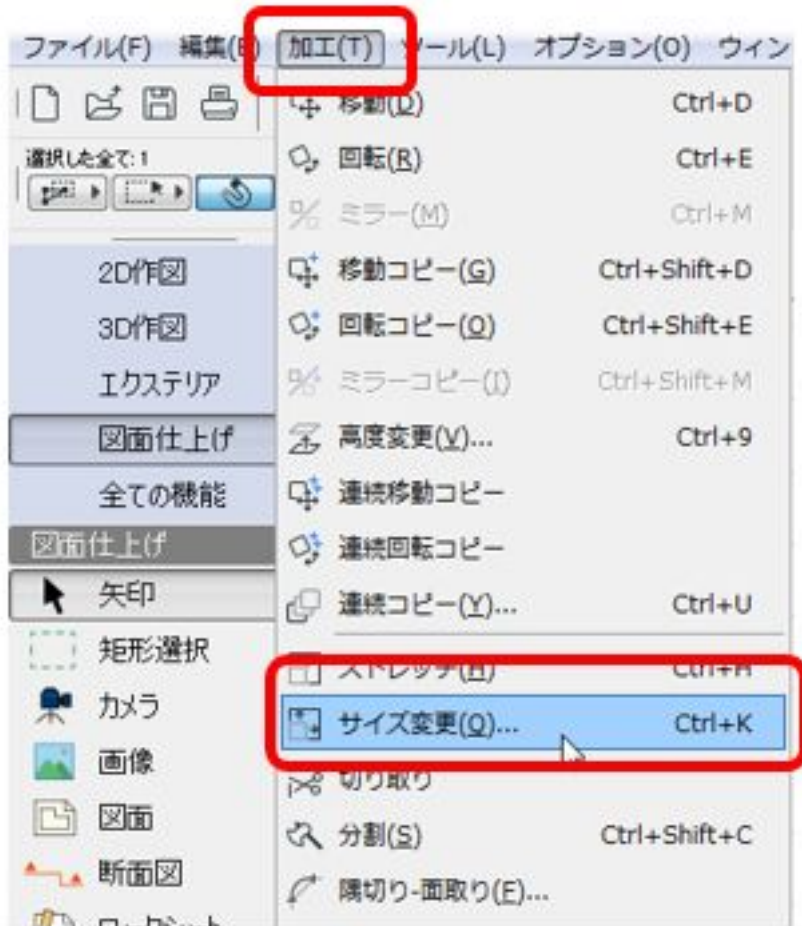


メニューバーの「加工」から「サイズ変更」を選択します。

サイズ変更の設定が表示されます。

「図面上で定義」にチェックを付け、「OK」をクリックします

## 2D操作



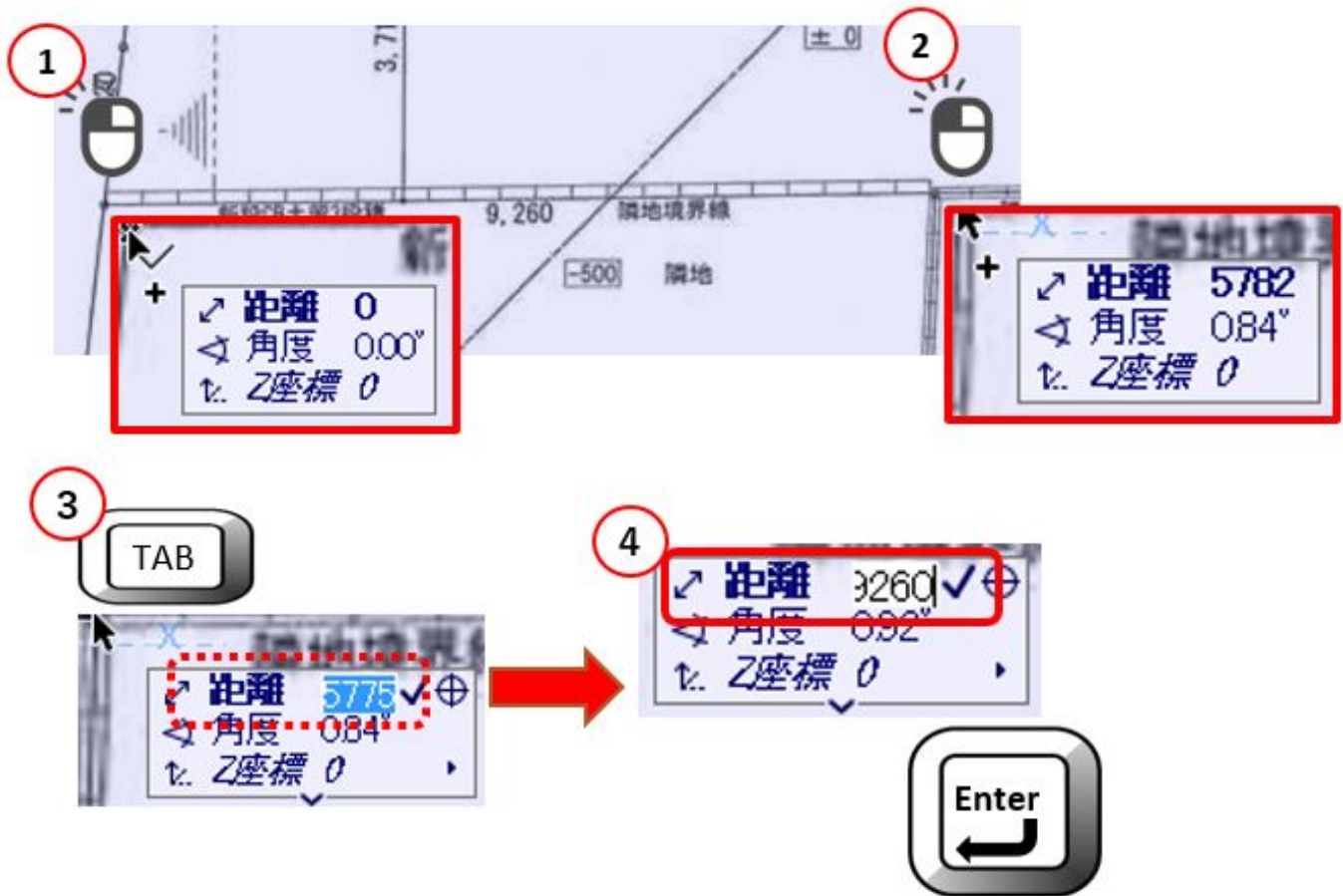
サイズ変更の基準線の始点を**ワンクリック**します

基準線の終点を**ワンクリック**します

キーボードから [ TAB ] キーを押下

座標ボックスの「距離」の値を、実際の値に変更後 [ Enter ] キーを押下

## 2D操作



スケールが合いました。

表示された画像の線に沿って、直線ツールで外周線をトレース、または簡易敷地入力ツールを使用して敷地線を作図します。

取り込んだ画像の回転

基準線を水平（または垂直）に合わせる方法について水平を例として説明します。

平面図の取り込んだ画像を選択。

メニューバーの「加工」から[回転]を選択。マウスに円形の分度器が表示。

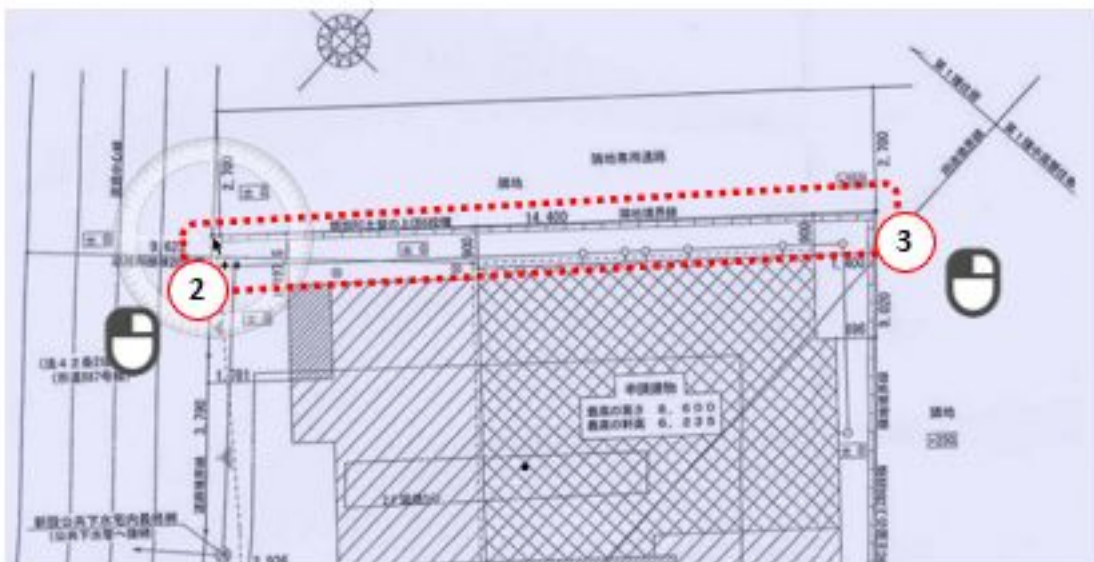


## 2D操作



基準となる線の回転の始点クリック

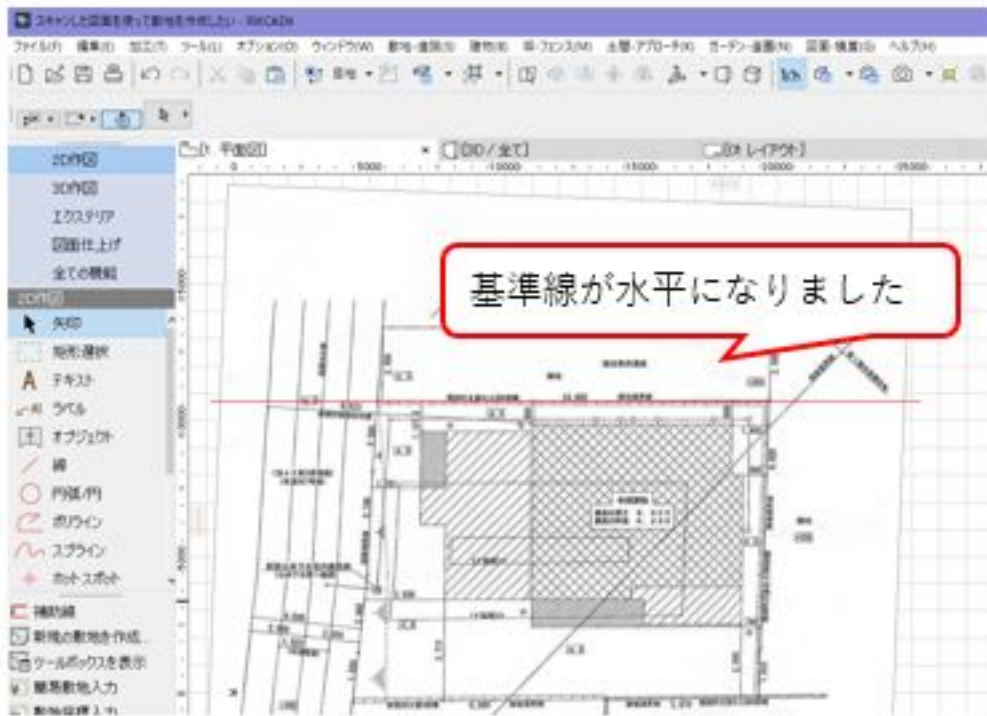
基準となる線の終点をクリック



「 」の始点から水平方向にマウスを移動。「Shiftキー」を押下しながらマウス左ボタンをクリック。

スナップガイドを表示されている場合は青色で表示される「X軸」の点線の上にマウスを乗せクリック。

# 2D操作



## 関連項目

- [マウスの横に座標ボックスが表示されない \(座標情報の表示\)](#)
- [簡易敷地入力](#)

一意的なソリューション ID: #1292

製作者: 藤田

最終更新: 2020-06-04 13:23